

世帯の主たる生計維持者の所得・収入状況表

記載例

様分

4年度減免用

下記の4項目の収入のうち、令和4年中の収入が令和3年分の収入と比較して30%以上減収の見込みとなる項目に記入してください

- ① 世帯の主たる生計維持者の令和3年中の合計所得金額が1,000万円以下である。
- ② 世帯の主たる生計維持者に令和3年中に所得の種類が複数あった場合、令和4年中に30%以上収入減が見込まれる収入に対応する所得以外の所得合計が400万円以内である。
- ③ 世帯の主たる生計維持者の、令和4年中に30%以上減収が見込まれる収入の種類、現状の収入額、その収入を得た期間、保険、損害賠償等による補填額
- ④ 世帯の主たる生計維持者の、③の収入に対応する令和3年分の収入額

1,000万円を超えている場合は申請不可

400万円を超えている場合は申請不可

各項目の①と④への記入で、令和4年中の連続した3か月以上の期間を記入し、④に該当期間での収入額を記入してください。

記入した数値には、それぞれその額、又は月数を証明する書類をご用意ください。

④に、確定申告書の写し、源泉徴収票などから令和3年分の該当収入額を記入して下さい。

令和4年中の収入予測額

1-A ⑦給与収入			
令和4年①	月④から⑤	月⑤	ヶ月分
④			円

令和3年分の収入額	
1-B 給与収入	④
④	円

$$\frac{\text{④} \div 12 \text{ヶ月} \times \text{⑤}}{\text{令和4年分の稼働月数に合わせた令和3年分収入額}} = \text{①} \text{円}$$

$$\frac{(\text{①} - \text{④}) \div \text{①}}{\text{令和4年の給与収入が令和3年に比べて減少した割合(給与収入)}} = 1 \text{ ②}$$

⑤に、①から④までの稼働期間を月単位で記入して下さい。

2-A ⑦事業収入			
令和4年①	月④から⑤	月⑤	ヶ月分
④			円

令和3年分の収入額	
2-B 事業収入	④
④	円

$$\frac{\text{④} \div 12 \text{ヶ月} \times \text{⑤}}{\text{令和4年分の稼働月数に合わせた令和3年分収入額}} = \text{①} \text{円}$$

$$\frac{(\text{①} - \text{④}) \div \text{①}}{\text{令和4年の事業収入が令和3年に比べて減少した割合(事業収入)}} = 2 \text{ ②}$$

例1

3-A ⑦不動産収入			
令和4年①	2月④から⑤	5月⑤	4ヶ月分
④			400,000円 円

令和3年分の収入額	
3-B 不動産収入	④
④	3,000,000円

$$\frac{\text{④}3,000,000 \div 12 \text{ヶ月} \times \text{⑤}4 = \text{①}1,000,000 \text{円}}{\text{令和4年分の稼働月数に合わせた令和3年分収入額}}$$

$$\frac{(\text{①}1,000,000 - \text{④}400,000) \div \text{①}1,000,000 = 3 \text{ ②}0.6}{\text{令和4年の不動産収入が令和3年に比べて減少した割合(不動産収入)}}$$

例2

4-A ⑦山林収入			
令和4年①	2月④から⑤	5月⑤	4ヶ月分
④			200,000円 円

令和3年分の収入額	
4-B 山林収入	④
④	840,000円

$$\frac{\text{④}840,000 \div 12 \text{ヶ月} \times \text{⑤}4 = \text{①}280,000 \text{円}}{\text{令和4年分の稼働月数に合わせた令和3年分収入額}}$$

$$\frac{(\text{①}280,000 - \text{④}200,000) \div \text{①}280,000 = 4 \text{ ②}0.2857}{\text{令和4年の山林収入が令和3年に比べて減少した割合(山林収入)}}$$

⑤	1給与収入	1 ② × 100 =		%
	2事業収入	2 ② × 100 =		%
例1 該当する ⇒	3不動産収入	3 ② × 100 =	60	%
例2 非該当 ⇒	4山林収入	4 ② × 100 =	28.57	%

減少の割合が30%以上の項目に対応する所得の合計額、及び被保険者の属する世帯の、世帯主と被保険者全員の合計所得金額の合計が各々1円以上あれば減免される可能性があります。